

「飯田・豊橋読書交流会」を開催しました！

飯田・豊橋読書交流会



実施日 平成25年7月4日（木）

場 所 豊橋市三の丸会館、豊橋市美術博物館

参加者 豊橋市読書会サークル連絡会16名、一般9名

内 容 平成9年に両地方の草の根レベルでの読書交流として始まった「飯田・豊橋読書会交流会」。第17回目を迎えた今回は豊橋市で開催しました。飯田からバスで17名の方々をお迎えし、三の丸会館での昼食交流会で和やかな歓談のひとときを過ごした後、美術博物館の企画展～生誕120年「木村莊八展」～を鑑賞。永井荷風著「濯東綺譚」の挿絵となった作品など、文学関係の話題を中心とした学芸員の説明に、皆さん熱心に耳を傾けました。

引き続き行われた読書会交流会のテーマは「今に活かす古典の力」。両市の読書会活動の紹介として、飯田市が「平家物語」とゲーテ「ファウスト」、豊橋市が「徒然草」とカフカ「変身」についての発表を行いました。発表された作品の一部を参加者が全員で群読（声を揃えて音読）し、その雰囲気に触れました。

話し合い“わたしと古典”では、思い出の作品や職業生活の支えとなった座右の一冊など、参加者それぞれの“わたしの古典作品”について思いが語られました。名作として残ってきた作品が持つ普遍性にまで話題は及び、古典の力を再認識した読書会交流会となりました。2時間という短い時間でしたが、皆さん良い刺激を沢山受けられたことと思います。

互いに名残を惜しみつつ、来年また飯田市での再会を約束し、お開きとなりました。



昼食交流会



読書会～今に活かす古典の力～



生誕120年木村莊八展より
永井荷風著「濯東綺譚」挿絵



記念写真 また来年お会いしましょう